

研究タイトル:

GIS(地理情報システム)とフィールドワークを組み合わせた地域貢献



氏名:	吉村忠晴 / YOSHIMURA Tadaharu	E-mail:	yoshimura@fukushima-nct.ac.jp
職名:	教授	学位:	理学修士
所属学会・協会:	日本地理学会, 人文地理学会, 地理情報システム学会, 経済地理学会, 地理空間学会		
キーワード:	GIS(地理情報システム), 空間解析, 地域統計データ, フィールドワーク, 防災, 防犯		
技術相談 提供可能技術:	<ul style="list-style-type: none"> ・GISで利用できるデータの入手と加工, データの作成, データの管理 ・GISを利用した地域統計データ分析 ・GISを利用した空間解析(ラスタ空間分析, 交通ネットワーク分析を含む) ・フィールドワーク(現地調査)によるデータの収集, データの蓄積 		

研究内容:

GIS(地理情報システム)とフィールドワークを組み合わせた地域貢献

1. GISで利用できるデータの入手と加工、作成および管理
2. 地域統計データを用いて分析を行い、その結果をGISで地図化し、さらに作成された地図に空間解析を行う。
3. フィールドワーク(現地調査)の結果をGISで地図化し、作成された地図や空間解析の結果から地域の実態の把握をする。
4. 地域に関する問題について、空間認知や人間行動、行動経済学などの心理学的側面を考慮した解決案・改善策の提示をする。
5. 公開講座による住民への情報提供、ワークショップ開催による住民参加の促進

具体例 GISを利用した安全・安心のまちづくり

1. 災害関係の地図データを用いてGISによる空間解析と現地調査を実施することで、防災に関する問題点を明らかにし、その結果を踏まえ、地域の防災・減災対策を検討する。
2. 現地調査で得られたデータを用いてGISによる空間解析を行うことで、犯罪機会や交通事故の頻度の高い場所を明らかにし、その結果を踏まえ、地域の安全対策を検討する。

提供可能な設備・機器:

名称・型番(メーカー)	
汎用型GISソフトウェア	ArcGIS (ESRI社)